

プレスリリース

2013年9月9日
国境なき医師団 (MSF)

国境なき医師団日本、シリア向けに用途を指定した寄付を募集開始

国境なき医師団 (MSF) 日本は、内戦続くシリアでの医療援助活動の資金不足を補うため、シリア向けに用途を指定した寄付の募集を開始する。寄せられた寄付金はすべて、シリア国内の紛争被害者、および周辺国に逃れて過酷な暮らしを強いられている難民への援助活動に使われる。

国内で活動する数少ない団体の 1 つ——日本からのスタッフも

シリアでは、爆撃などによる直接的な紛争被害で 10 万人以上が犠牲になっただけでなく、保健医療体制の崩壊によって、高血圧や糖尿病などの慢性疾患を抱えた患者、妊産婦は行き場をなくしている。また子どもたちへの予防接種は 2 年間行われておらず、はしかの感染拡大も確認されている。MSF は、シリア国内で援助活動を行う数少ない団体の 1 つとして、同国北部で 6 か所の病院と 4 か所の医療センターを運営、また、周辺国におけるシリア人難民支援も行っている。日本からも、2012 年 4 月以降、医師や看護師など 15 人のスタッフがのべ 21 回、シリアへ派遣され現地での医療援助活動に従事している。

中立・公平の活動支える財源が不足

MSF は、シリア内戦を巡るあらゆる政治的立場と一線を画し、活動の中立・公平性を確保するため、民間からの寄付金のみを活動財源としている。しかし、2013 年の総活動予算 4476 万ユーロ (約 58 億円) のうち、これまでに寄せられた寄付金は 1860 万ユーロ (約 24 億円) で、6 割が不足している状況となっている (7 月 13 日時点)。

2013 年 4 月にシリアへ外科医として派遣された MSF 日本会長の黒崎伸子医師は「内戦の犠牲者は増え続け、膨大なニーズを前に医療は全く足りていません。一人でも多くの命を救うために、私たちの活動にご協力ください」と支援を呼び掛けている。

シリア用途指定寄付募集の概要

募集期間 : 2013 年 9 月 9 日～10 月 31 日

支援でできること一例 :

3,000 円で、外科手術のための麻酔 1 回分を用意可能

5,000 円で、200 人に病気やけがの治療を含む基礎医療を提供可能

10,000 円で、560 人の子どもたちに、はしかの予防接種を実施可能

受付方法：

■ オンライン (https://www.msf.or.jp/donate_bin/onetime.php)

緊急支援対象から「シリア緊急援助」を選択

■ ゆうちょ銀行

口座番号：00190-6-566468

加入者名：特定非営利活動法人国境なき医師団日本

通信欄に「シリア緊急援助」と記入

■ 電話

0120-999-199 (9:00～19:00 無休、通話料無料)

「シリア緊急援助」とお伝えください。*クレジットカード決済

MSF は、外国人派遣スタッフとシリア人スタッフでチームを組み、シリア北部で 6 か所の病院と 4 か所の診療所を運営しており、2012 年 6 月から 2013 年 7 月にかけて、シリア国内で 6 万 6000 件以上の診療、3400 件の外科手術、1400 件の分娩介助を行った。

以上

本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平 (たち・しゅんぺい)

TEL：03-5286-6141 携帯：090-5759-1983 FAX：03-5286-6124

E-mail: press@tokyo.msf.org <http://www.msf.or.jp>